

まちの将来像 住みたい 住み続けたい

大 綱	政 策	施 策	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	
			貧困をなくそう	飢餓をゼロに	健康と福祉を	すべての人に健康と福祉を
Ⅰ つながり ～人と人が支えあい 尊重するまち～	1 健康福祉	①相談体制の充実と虐待等の防止	●		●	
		②健康づくりの推進			●	
		③地域包括ケアシステムの構築			●	
		④社会保障の充実	●		●	
		⑤感染症の予防と拡大防止対策の推進			●	
		⑥障がい者の自立と地域共生社会の推進			●	
		⑦地域福祉の推進	●	●	●	
Ⅱ 育み ～地域とともに 人が育つまち～	2 人 権	①人権が尊重される社会づくり				
		②あらゆる分野における女性の活躍とダイバーシティの推進				
	1 子 育 て	①幼児教育・保育の充実		●	●	
		②子育て支援の推進	●	●	●	
		③切れ目のない支援の推進	●	●	●	
	2 教 育	①地域との協働と信頼される学校づくり	●		●	
		②子どもの未来の礎となる「確かな学力・豊かな心・健やかな身体」の育成	●		●	
		③生涯学習の推進	●		●	
		④多様なスポーツの推進			●	
		⑤文化・芸術活動の推進				
	3 歴史文化	①斎宮跡、文化財・文化遺産の調査研究・保存・活用				
Ⅲ 安心 ～安心安全な 暮らしやすいまち～	1 防災防犯	①防災・減災対策の推進	●			
		②防犯・交通安全対策の推進	●		●	
		③消費者行政の推進	●			
		④消防力の向上	●			
	2 環 境	①環境への負荷が少ない持続可能な社会づくり			●	
		②鳥獣被害対策の推進	●	●		
		③豊かな自然環境の保全		●		
		④快適な居住環境づくり			●	
	3 生活基盤	①道路の維持管理・整備			●	
		②土地の計画的な利用			●	
		③公園の維持管理・整備			●	
		④上・下水道の維持管理・整備				
		⑤公共交通の充実			●	
Ⅳ 創造 ～産業が元気で 活力のあるまち～	1 産 業	①農業・水産業の振興		●		
		②商工業の振興				
		③企業の誘致・育成・支援				
		④観光業の振興				
	2 地域戦略	①広域連携による地域活性化				
		②ICTを活用したまちづくり			●	
		③地方創生による活性化				
		④住民協働のまちづくり				
	3 行政経営	①健全な財政運営				
		②公共施設等の適正管理の推進				
		③行政運営の効率化				
		④広報広聴の充実				

SDGsについて

[illegible]

用語集

あ行

あーるぴーえー RPA	パソコンの中にあるソフトウェア型のロボットが代行・自動化する概念のこと。	4-2-2
あいおーていー IoT	Internet of Things (モノのインターネット) 様々な「モノ」がインターネットに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組みである。それによるデジタル社会の実現を指す。	4-2-2
あいしーていー ICT (情報通信技術)	Information and Communication Technology (情報通信技術) の略。情報・通信技術の総称のことをいう。	3-3-5
あきやばんく 空き家バンク	空き家の所有者から提供された情報を集約し、空き家をこれから利用・活用したい人に紹介する制度のこと。	3-2-4
あくーていぶしにあ アクティブシニア	一般的に「仕事・趣味などに意欲的で、健康意識が高い傾向にある活発な高齢者」の通称のこと。	1-1-3
あせすめんと アセスメント	(評価する)、(査定する) を意味する。	2-2-2
えーあい AI	Artificial Intelligence (人工知能) の略。	4-2-2
えーあいどりる AIドリル	AI型ドリル教材のこと。1人1台端末環境で、AI(人工知能)を利用することで個々の生徒の理解度・特性に合わせた個別最適学習を提供することができる。	2-2-2
えすえぬえす SNS	ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略で、インターネットを介して人間関係を構築できるスマホ・パソコン用のサービスの総称のこと。	2-2-3 4-1-4 4-2-4 4-3-4
おーぶんでーた オープンデータ	誰でも許可されたルールの範囲内で自由に複製・加工や頒布などができるデータのこと。	4-3-4

か行

かーぼんにゅーとらる カーボンニュートラル	社会のライフサイクル全体で見たときに、二酸化炭素 (CO ₂) の排出量と吸収量とがプラスマイナスゼロの状態になること。	3-2-1
かんけいじんこう 関係人口	移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと。近年移住関連のイベント、情報誌等で盛んに利用される。地域と関係がある人々を幅広く指している。	4-2-3
ぎがすくーる こうそう GIGAスクール (構想)	児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、子どもそれぞれに合った創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想のこと。	2-2-2
きぎょうばんふ りさとのうぜい 企業版ふるさと納税	正式名称：地方創生応援税制。企業が地域再生法の認定地方公共団体が実施する「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」に対して寄附を行った場合に、税制上の優遇措置が受けられる制度のこと。	4-2-3
くらうどふぁんでいんぐ クラウドファンディング	不特定多数の人がインターネット等を経由して他の人々や組織に財源の提供や協力などを行うこと。	4-3-1
けあ ケア	介護のこと。ケアプラン、地域包括ケアシステム等で使われる。	福祉分野
けーびーあい KPI	組織において、個人や部門の業績評価を定量的に評価するための指標のこと。	基本計画全体
ごうけいとくしゅしゅっしょうりつ 合計特殊出生率	人口統計上の指標で、一人の女性が15歳から49歳までに産む子どもの数の平均のこと。	1-1-2

こうつうくわくち 交通空白地	一定の距離に駅やバス停など公共交通手段がない地域のこと。	3-3-5
こうりゅうじんこう 交流人口	観光などでその地域に訪れる人のこと。関係人口よりも地域との関係性が少ない場合に用いられることが多い。	
こくどきょうじんか 国土強靱化	災害や事故などにより致命的な被害を負わない強さと、速やかに回復するしなやかさをもつ国土をつくること。	3-1-1
こどもしょくどう 子ども食堂	子ども食堂は、子どもやその親、および地域の人々に対し、無料または安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供するための日本の社会活動のこと。	1-1-7
こみゆにていすくーる コミュニティスクール	学校と保護者や地域の人々がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させ、ともに力を合わせて活動することで、子どもたちの豊かな成長を支える仕組みのこと。	2-2-1
さ行		
ざいせいけんぜんか 財政健全化	歳出（支出）の抑制や歳入（収入）を増やす取組を行い、健全な財政運営を目指すこと。	4-3-1
ざいせいちようせいききん 財政調整基金	年度によって生じる財源の不均衡を調整するために、財源に余裕がある年度に積み立てておくもので、地方公共団体の貯金のこと。	4-3-1
さいみんえすえふしやうほう 催眠（SF）商法	催眠術的な手法を導入し、消費者の購買意欲を煽って商品を販売する（本来は必ずしも必要ではない製品を売り付ける）商法。	3-1-2
さてらいとおふいす サテライトオフィス	企業本社や、官公庁・団体の本庁舎・本部から離れた所に設置された事務所のこと。	4-1-3
しーえるえむ CLM	保育所、幼稚園において、発達に課題がある子等の行動等を観察し個別の指導計画を作成するためのツール。チェックリスト・イン・三重の略。	2-1-1
じぎょうしよせつちしやうれいきんせいど 事業所設置奨励金制度	一定の要件を満たす事業所の新設または増設に対して3年間奨励金を支給する明和町独自の制度。	4-1-3
しやうがいすぽーつ 生涯スポーツ	一人ひとりのライフスタイルや年齢、体力、運動技能、興味等に応じて、生涯にわたりいろいろな形でスポーツに関わりをもち、スポーツのもつ多くの意義と役割を暮らしの中に取り入れていくこと。	2-2-4
すまーとしてい スマートシティ	先端技術を用いて、エネルギーや生活インフラの管理に用いることで、生活の質の向上や都市の運用及びサービスの効率向上をめざし、現在と次の世代が経済・社会・環境の観点で満足できるような都市のこと。	4-2-2
すまーのうすいさんぎやう スマート農（水産）業	ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する等を推進している新たな農業のこと	4-1-1
せいかつはいすいしよりんこうふいきやうりつ 生活排水処理人口普及率	下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽等の生活排水処理施設による処理人口の総人口に占める割合。	3-3-4
せーふていねっと セーフティネット	あらかじめ予想される危険や損害の発生に備えて、被害の回避や最小限化を図る目的で準備される制度や仕組みのこと。	1-1-4
そさえていーごーてんげろ Society5.0	狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すもので、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会のこと。	2-2-2 4-2-2

た行		
たい き じ どう 待機児童	認可保育所へ入所申請をしながらも満員のために入所できない児童。	2-1-1
だい ば ー し て い ダイバーシティ	多様性のこと。組織やグループなどで多様な人材を登用し、意見を取り入れ、それぞれが持つ違った能力を活かすことで、組織の競争力を高めようとする取組を指す。	1-2-2
ち い き と う ろ く で い え む お ー ほうじん 地域登録DMO法人	地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人のこと。	4-1-4
ち い き ほう かつ け あ し す て む 地域包括ケアシステム	地域の実情に応じて、高齢者が可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活支援が包括的に確保される体制のこと。	1-1-3
ち い き み ら い じ ゅ く 地域未来塾	経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身についていない児童・生徒への学習支援を、大学生や教員OB、NPOなど地域住民の協力により学習支援を実施する事業のこと。	2-2-2
ち ょ う じ ゅ う け ゃ 長寿化	寿命がのびること、あるいは寿命をのばすことを意味する表現。耐久性を向上させ、長持ちするようになることを指す。	3-3-1
で い え つ く す で じ た る と ら ん DX（デジタルトランスフォーメーション）	IT（情報技術）が社会のあらゆる分野に浸透することによってもたらされる様々な変革、革新のこと。	4-1-1
で じ た る き ょ う か し ょ デジタル教科書	デジタル化（電子化）された教科書。教科書およびノートや鉛筆などを電子機器に置き換え、教育課程に導入しようというもの。	2-2-2
で ま ん ど ば す デマンドバス	オンデマンドバスともいい利用者の要求に対応して運行する形態のバスのこと。	3-3-5
ど う る す と っ く 道路ストック	これまでに整備を行ってきた道路舗装、橋りょう及びトンネルなどのこと。	3-3-1
ど う る め ん せ い じ ょ う ち ょ う さ 道路路面性状調査	道路を維持管理する際に必要なデータであるひび割れ・わだち掘れ・平坦性（σ）などの調査のこと。	3-3-1
な行		
に ほ ん い ざ ん 日本遺産	地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するもの。ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことで、地域の活性化を図ることを目的としている。	4-1-4
に ん て い こ ど も え ん 認定こども園	各都道府県知事によって認定され、小学校就学前の子どもやその親に対して、保育や教育といった子育てに関する包括的なサービスを提供する幼稚園や保育所、またその関連施設。	2-1-1
ね ー み ん ぐ ら い つ ネーミングライツ	公共施設の名前（愛称）を付与する命名権と、それを付帯する諸権利のこと。	4-3-1
の う す い ふ く れ ん け い と う の う ぎ ょ う ・ 農（水）福連携等農業・水産業	障がい者等が農業分野、水産分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組のこと。	4-1-1
の う ち し ゅ う せ き り つ 農地集積率	農地を集めて農作業を効率化し、生産コストを下げることを農地の集積と言い、集積率とはその割合のこと。	4-1-1
の ま ら い ぜ ー し ょ ん ノーマライゼーション	1950年代に北欧諸国から始まった社会福祉をめぐる社会理念の一つで、障がい者も、健常者と同様の生活が出来る様に支援するべき、という考え方。	1-1-6

は行		
ぱーそなるふぁいる パーソナルファイル	発達や教育に支援の必要な子どもが、安心して一貫した支援を受けられるよう、支援の情報をスムーズに引き継ぐためのファイルのこと。パーソナルファイルは、保護者等が子どもの情報を記入・作成・保管する。	2-1-3
ぱーとな-しっぴせいど パートナーシップ制度	戸籍上は同性であるカップルに対して、地方自治体が婚姻と同等のパートナーシップであることを承認する制度のこと。	1-2-1
はいぱーきゅーゆー hyper-QU	『やる気のあるクラスをつくるためのアンケート』と『いごちのよいクラスにするためのアンケート』などから構成される学校生活における児童生徒の意欲や満足感、および学級集団の状態を測定する児童アンケートのこと。	2-2-2
ばいぶらいん パイプライン	既設管を埋設して造成する農業用管水路のこと。	4-1-1
びーえふあい PFI	Private Finance Initiative (プライベート・ファイナンス・イニシアチブ) 公共事業・公共工事に民間の資金やノウハウを導入し、国費の節減やよりよい公共サービスの提供を図る手法。	4-3-3
ぶらんでいんぐ ブランディング	商品やサービスを他社の競合品と区別し、顧客の信頼性や好感、共感を得ることで商品価値を高める「ブランド」を確立する(ブランドの価値を高めていく) 取組のこと。	4-1-4
ふるさとのおせい きふ ふるさと納税(寄附)	日本における寄附基金税制の一つ。任意の自治体へ寄附することにより、その寄附金額分を現に居住する地方自治体へ申告することにより寄附分が住民税及び所得税から控除できる制度。	4-2-3
へいとすぴーち ヘイトスピーチ	人種、出身国、民族、宗教、性的指向、性別、容姿、健康(障がい)、といった、自分から主体的に変えることが困難な事柄に基づいて、属する個人または集団に対して攻撃、脅迫、侮辱する発言や言動のこと。	1-2-1
ま行		
まーす MaaS	Mobility as a Serviceの略。バスや電車、タクシー、飛行機など、すべての交通手段による移動を一つのサービスに統合し、ルート検索から支払いまでを継ぎ目なしにつなぐ概念のこと。	3-3-5
ますとあいてむ マストアイテム	欠かせないもの。絶対に必要なもの。必需品。	2-2-2
ら行		
らいふすてーじ ライフステージ	人の一生を幼少年期・青年期・壮年期・老年期などに区切った、それぞれの段階。	1-1-1
れふあれんすさーびす レファレンスサービス	図書館利用者が学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、図書館員が情報そのものあるいはそのために必要とされる資料を検索・提供・回答することによってこれを助ける業務のこと。	2-2-3
ろくじさんぎょう 6次産業	農林水産業・畜産業などの「第1次産業」に携わる農家が、食品の加工から販売まで手がけること。第1次産業、第2次産業、第3次産業まで一貫して携わること。	4-1-1
わ行		
わーけーしょん ワーケーション	「ワーク」と「バケーション」を組み合わせた造語で、観光地やリゾート地でテレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方。	4-1-3
わんすとっぷ ワンストップ	行政手続き等の従来サービスによって複数に分かれていた窓口を、総合窓口を設けて1カ所で行えるようにすることをここでは指す。	1-1-1

明和町総合建設計画審議会委員名簿

令和2年度

名 前	役 職 名
豊福 裕二	三重大学人文学部法律経済学科 教授
西井 正	多気郡農業協同組合 代表理事組合長
山中 敬輔	明和町商工会 青年部長
古市 明伸	伊勢湾漁業協同組合 三重県黒海苔養殖研究会委員
坂谷 隆徳	大淀工業団地協議会 会長
東谷 泰介	明和町観光協会 理事
嵐 仁志	済生会明和病院 事務部長
辻 雅大	明和町校長会 OB
中瀬 正実	明和町人権を守る会 会長
山田 奏	明和町社会福祉協議会 地域福祉係長
千田 良仁	皇學館大学現代日本社会学部教授 (町地方創生アドバイザー)
濱口 行生	大淀地区自治会長 代表
林 敏夫	明星地区自治会長 代表
世古口 文子	めいわ市民活動サポートセンター 理事長
堰 江里	若い世代 公募枠
山中 謙志郎	若い世代 公募枠
伊豆 千夜子 (令和2年12月まで)	明和町議会議員
高橋 浩司 (令和2年12月まで)	明和町議会議員
中井 啓悟 (令和2年12月から)	明和町議会議員
松本 忍 (令和2年12月から)	明和町議会議員

第 6 次総合計画策定経緯

年 月	項 目	備 考
R1年 5月	第 1 回総合計画策定プロジェクト会議	
R1年10月	第 2 回総合計画策定プロジェクト会議	
R1年12月	町民アンケートの実施	町民 2000 人を対象にアンケートを実施 有効回収 746 (回収率 37.3%)
R1年12月	明和町議会全員協議会	
R2年 2月	第 3 回総合計画策定プロジェクト会議	
R2年 3月	明和町議会全員協議会	
R2年 5月	第 1 回総合計画策定部会	
R2年 6月	明和町議会全員協議会	
R2年 6月	第 2 回総合計画策定部会	
R2年 8月	第 1 回総合計画建設審議会	委員委嘱
R2年 8月	第 3 回総合計画策定部会	
R2年 9月	明和町議会全員協議会	
R2年 9月	第 4 回総合計画策定部会	
R2年10月	第 5 回総合計画策定部会	
R2年10月	第 2 回総合計画建設審議会	
R2年11月	第 6 回総合計画策定部会	
R2年11月	第 3 回総合計画建設審議会	
R2年12月	パブリックコメントの実施	意見および提案件数 9 件
R2年12月	明和町議会全員協議会	
R3年 1月	第 2 回議会連合審査会	
R3年 1月	第 7 回総合計画策定部会	
R3年 2月	第 4 回総合計画建設審議会	
R3年 2月	総合計画建設審議会答申	
R3年 2月	第 3 回議会連合審査会	
R3年 3月	明和町議会定例会	議決
R3年 3月	第 8 回総合計画策定部会	

第 6 次明和町総合計画

令和 3 年 3 月
明和町まちづくり戦略課

〒 515-0332
三重県多気郡明和町大字馬之上 945 番地
TEL : 0596-52-7112 FAX : 0596-52-7113
E-mail senryaku@town.mie-meiwa.lg.jp

みんな
でつくる
まちづくり

